

令和2年度 指導救命士養成研修



総合シミュレーション演習の特徴

指導救命士として、救急救命士を含む救急隊員、通信指令員、消防隊員に対し、医学的・科学的な観点からの効果的指導方法を確立する意味で、自らが企画・立案した想定内容を総合シミュレーションにおいて主催し、実施班評価までの一連を学び、指導教授、教官から指導能力の評価を受けます。

募集中
8/31まで



救急救命 九州研修所

Emergency Life-Saving Technique Academy of KYUSHU

○研修の特長

- ・最新の知識を持った7人の専任教授（医師）及び経験豊富な10人の教官（現役救命士）による徹底指導
- ・国が示した指導救命士養成指針の100時限を上回る232時限
- ・高度訓練シミュレーター等、最新の機材を使用した教育、訓練の実施
- ・新しいトレーニング法であるPOT（アドバンスとベーシック）の受講による緊急度、重症度分類の理解
- ・拡大2行為やビデオ喉頭鏡取り扱いの資格取得が可能
- ・組織の救急指導者として指導育成に必要な、チーム指導技法、熟達理論、コーチング技法、評価方法の習得
- ・地域のメディカルコントロールを担う医師、関係機関との連携を行うための技術の習得
- ・地域の特性を把握するための統計学の習得

○全国の救急隊員との広範なネットワークの構築

北海道から沖縄まで全国の消防本部から1期最大200名の定員で実施しており、研修中の貴重な情報交換や修了してからのネットワークが構築されます。

○実績

平成26年から現在までに1,838名が受講し、全国で活躍しています。活躍状況は、救急振興財団ウェブサイトの「指導救命士活躍情報」をご覧ください。（<http://fasd.jp/publics/index/309/>）

研修期間(30日)

第1期 令和2年5月11日(月) ～ 6月19日(金)

第2期 令和2年6月25日(木) ～ 8月7日(金)

募集人員

400名(第1期、第2期、各200名)

研修場所

救急救命九州研修所(ELSTA九州)

(Emergency Life Saving Technique Academy of KYUSHU)

北九州市八幡西区大浦3丁目8番1号

電話 093-602-9945